

電腦援助

Ver. 4

浅田 菜輔

効果的なプレゼン パワーポイントを上手に使おう。

電腦ネタを書いておりますが、私も児童相談所で働いておりますし、臨床心理士でもあります。普段はホントに「対人援助業務」をしております。ホントです。10年以上この仕事をしていると、普段の相談業務もそうですが、講師役を引き受ける場面もできます。何かしら発表するという場面もありますね。そういうときにパワーポイントを使う機会も多いです。多いというか、使うのが好きなんですけどね。研修会なんかに参加しても、内容はもちろんですが、パワーポイントの使い方もじっくりみていたりします。

細かい文章があってそれを読み上げているものなど、「紙わたせば聞かなくていいじゃん」なんて思ったりします。細かいグラフの説明されると、「んなもんみえねえよ」なんて言いたくなったりします。

★ パワーポイントを作るときの大事なポイント3つ



最小限の文字+大きな文字 (パワポで24pt)

細かい字は誰もみてませんから！

細かい文字でかかれたスライドは、参加者は誰も見ていません。誰も見ないものを表示させる意味があるのか？ないです。

「大事なことですよ！」って、大事なことであれば別紙を渡しておけばいいのです。

もしこれを使うなら、私ならこうしますね。

(文章に責任は持ちません)

(児童虐待の定義)

- 第二条 この法律において、「児童虐待」とは、保護者(親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護するものをいう。以下同じ。)がその監護する児童(十八歳に満たない者をいう。以下同じ。)について行う次に掲げる行為をいう。
 - 一 児童の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること。
 - 二 児童にわいせつな行為をすること又は児童をしてわいせつな行為をさせること。
 - 三 児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置、保護者以外の同居人による前二号又は次号に掲げる行為と同様の行為の放置その他の保護者としての監護を著しく怠ること。
 - 四 児童に対する著しい暴言又は著しく拒絶的な対応、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力(配偶者(婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。)の身体に対する不法な攻撃であって生命又は身体に危害を及ぼすもの及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動をいう。)その他の児童に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

(児童虐待の定義)

- 第二条 この法律において、「児童虐待」とは、保護者(親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護するものをいう。以下同じ。)がその監護する児童(十八歳に満たない者をいう。以下同じ。)について行う次に掲げる行為をいう。一 児童の身体に外傷が生じ、又は生じるお

要するにどうということ?

児童虐待とは

その子どもの保護者が下記をすること。

- 暴行を加える
- わいせつな行為をする、させる
- 必要な監護をしない
- 暴言、配偶者間の暴力

(児童虐待防止法 第二条)

細かい表も見にくい！わしゃ老眼なんね！

まだ老眼ではありませんが、近視なのでどっちにしてもみえません。

被虐待児の行動特徴

特徴	属性	結果	アスタリスク
男女	女	合計高い	*
年齢	中学生	注意多動低い	**
入所年数	0~3年	感情抑制低い	**
身体的虐待	有り	虐待期間関係高い	*
身体的虐待	有り	注意多動低い	*
身体的虐待	有り	感情抑制低い	**
身体的虐待	有り	虐待期間関係高い	*
ネグレクト	有り	自尊心低い	*
発達障害	有り	力の関係関係高い	*
発達障害	有り	性的逸脱低い	***
精神科通院	有り	虐待期間関係高い	**
精神科通院	有り	感情抑制低い	***
精神科通院	有り	感情抑制低い	***
虐待的人間関係	高い	注	低い*
虐待的人間関係	高い	学校	不適応高い*
虐待的人間関係	高い	希死念慮	高い**
虐待的人間関係	高い	感情抑制	低い***
虐待的人間関係	高い	合計	高い***

*p<.05,**p<.01,***p<.001

注意多動	高い	虐待期間関係高い	**
注意多動	高い	感情抑制低い	**
注意多動	高い	虐待期間関係高い	**
注意多動	高い	自尊心低い	***
注意多動	高い	感情抑制低い	*
性的逸脱	高い	虐待期間関係高い	*
性的逸脱	高い	力の関係関係高い	**
性的逸脱	高い	感情抑制低い	*
性的逸脱	高い	虐待期間関係高い	*
性的逸脱	高い	自尊心低い	*
性的逸脱	高い	感情抑制低い	**
性的逸脱	高い	感情抑制低い	**
食物固執	高い	力の関係関係高い	*
食物固執	高い	自尊心低い	*
食物固執	高い	虐待期間関係高い	*
感情抑制	高い	感情抑制低い	**
反社会性	高い	学校	不適応高い*
合計	高い	虐待期間関係高い	***
合計	高い	感情抑制低い	*
合計	高い	自尊心低い	**
合計	高い	感情抑制低い	**
合計	高い	感情抑制低い	**
合計	高い	感情抑制低い	**
合計	高い	感情抑制低い	**

こんなのはこうしてやります。

オレンジの枠をアニメーションで出現させます。

その後で、作っておいた拡大バージョンを出現させます。

被虐待児の行動特徴

特徴	属性	結果	アスタリスク
男女	女	合計高い	*
年齢	中学生	注意多動低い	**
入所年数	0~3年	感情抑制低い	**
身体的虐待	有り	虐待期間関係高い	*
身体的虐待	有り	注意多動低い	*
身体的虐待	有り	感情抑制低い	**
身体的虐待	有り	虐待期間関係高い	*
ネグレクト	有り	自尊心低い	*
発達障害	有り	力の関係関係高い	*
発達障害	有り	性的逸脱低い	***
精神科通院	有り	虐待期間関係高い	**
精神科通院	有り	感情抑制低い	***
精神科通院	有り	感情抑制低い	***
虐待的人間関係	高い	注	低い*
虐待的人間関係	高い	学校	不適応高い*
虐待的人間関係	高い	希死念慮	高い**
虐待的人間関係	高い	感情抑制	低い***
虐待的人間関係	高い	合計	高い***

*p<.05,**p<.01,***p<.001

注意多動	高い	虐待期間関係高い	**
注意多動	高い	感情抑制低い	**
注意多動	高い	虐待期間関係高い	**
注意多動	高い	自尊心低い	***
注意多動	高い	感情抑制低い	*
性的逸脱	高い	虐待期間関係高い	*
性的逸脱	高い	力の関係関係高い	**
性的逸脱	高い	感情抑制低い	*
性的逸脱	高い	虐待期間関係高い	*
性的逸脱	高い	自尊心低い	*
性的逸脱	高い	感情抑制低い	**
性的逸脱	高い	感情抑制低い	**
食物固執	高い	力の関係関係高い	*
食物固執	高い	自尊心低い	*
食物固執	高い	虐待期間関係高い	*
感情抑制	高い	感情抑制低い	**
反社会性	高い	学校	不適応高い*
合計	高い	虐待期間関係高い	***
合計	高い	感情抑制低い	*
合計	高い	自尊心低い	**
合計	高い	感情抑制低い	**
合計	高い	感情抑制低い	**
合計	高い	感情抑制低い	**
合計	高い	感情抑制低い	**

被虐待児の行動特徴

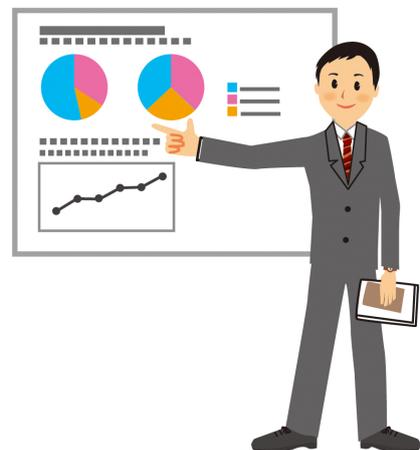
特徴	属性	結果	アスタリスク
虐待的人間関係	高い	注意多動高い	*
虐待的人間関係	高い	学校不適応高い	*
虐待的人間関係	高い	希死念慮高い	**
虐待的人間関係	高い	感情調整障害高い	***
虐待的人間関係	高い	合計高い	***
精神科通院	有り	感情抑制低い	***
精神科通院	有り	感情抑制低い	***
虐待的人間関係	高い	注	低い*
虐待的人間関係	高い	学校	不適応高い*
虐待的人間関係	高い	希死念慮	高い**
虐待的人間関係	高い	感情抑制	低い***
虐待的人間関係	高い	合計	高い***
虐待的人間関係	高い	合計	高い***
虐待的人間関係	高い	合計	高い***
虐待的人間関係	高い	合計	高い***
虐待的人間関係	高い	合計	高い***
虐待的人間関係	高い	合計	高い***
虐待的人間関係	高い	合計	高い***

*p<.05,**p<.01,***p<.001

こういう表でも、本当にみせたいところがありますよね？見せたいところだけみせればいいのです。

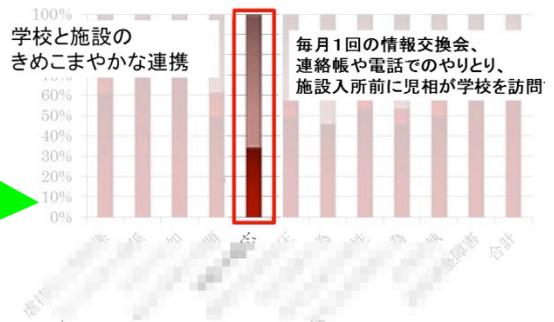
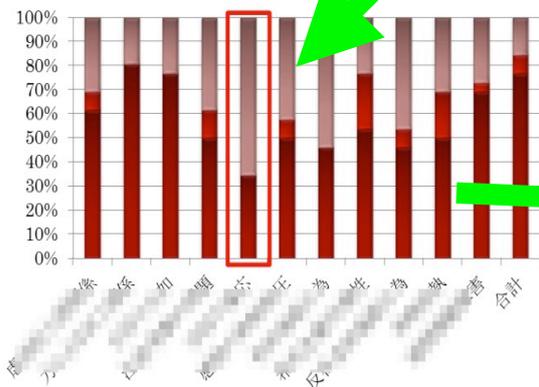
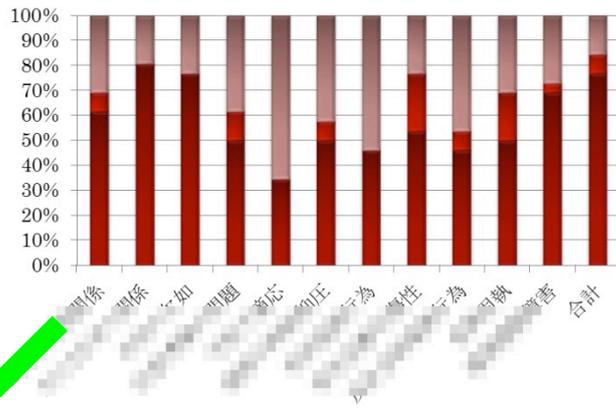
細かい字のパワーポイントは「本当に伝えたいところを絞っていない証拠」ですね。

話す時間は限られています。言いたいことを全部伝えるのは無理なのです。うまく絞りましょう。



白もうまく使おう。

こういうグラフも、
見せたいポイントを強調。



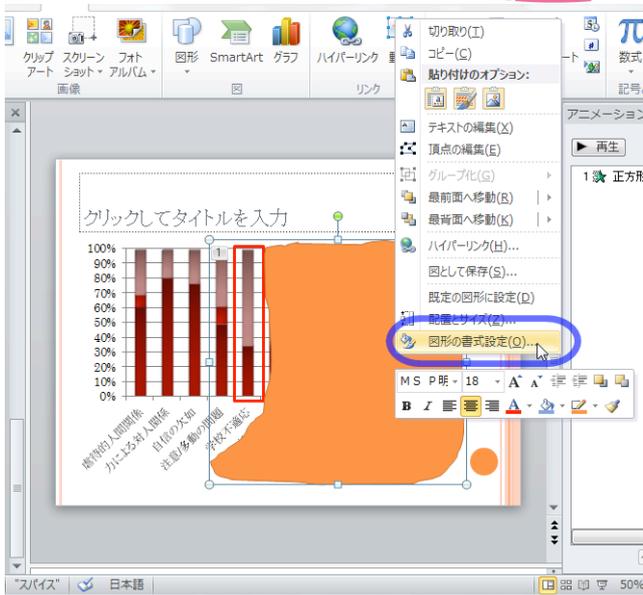
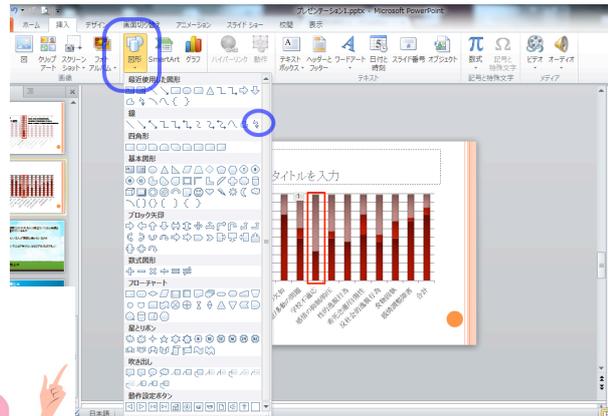
※このスライドの作りかた※



使うパーツは文字枠、赤枠、白いやつです。右側の青い丸はあとでまた説明します。

文字枠は「テキストボックス」、
赤い枠は「図形」→「四角形」で作
ります。

白いやつは「図形」のフリーハン
ドですね。

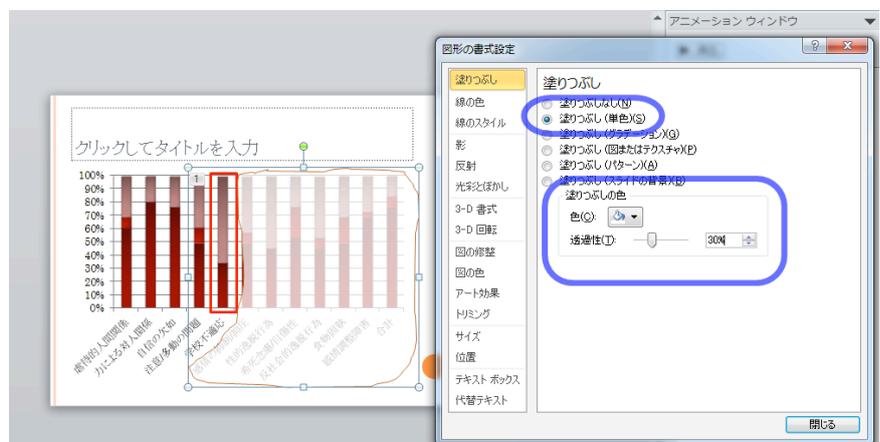


隠したい部分を囲みます。スタートし
たポイントと、ゴールを結びつけるよ
うにしましょう。そうすると、こんな感じ
になります。(オレンジではないかも)

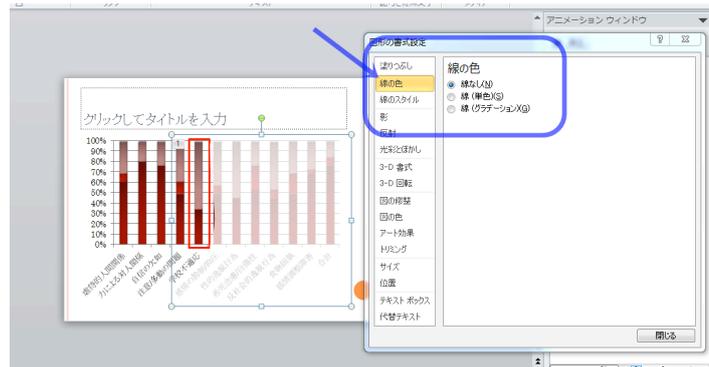
オレンジの部分を右クリックして「図
形の書式設定」をクリックします。

「塗りつぶし」の色を単
色、塗りつぶしの色を白
にして、透過性を30%く
らいにします。パーセン
テージは好みです。

(上で「あとで」とあ
るのはここです)



枠線の色が残るので、「線」は「線なし」にします。
 同じように左側も作ります。
 「半透明で枠線のないフリーハンドの領域」を作るわけです。



あとはこれらをアニメーションで同時に動かすだけです。

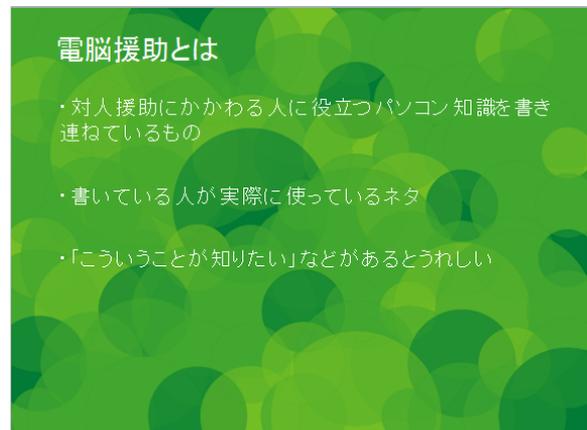
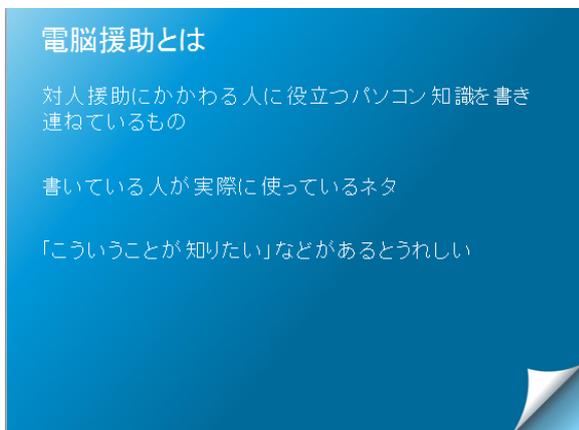
一個ずつクリックするのも億劫なので「前の動作と同時処理」するようにしましょう。手間はかかりますが、動く楽しいですよ！



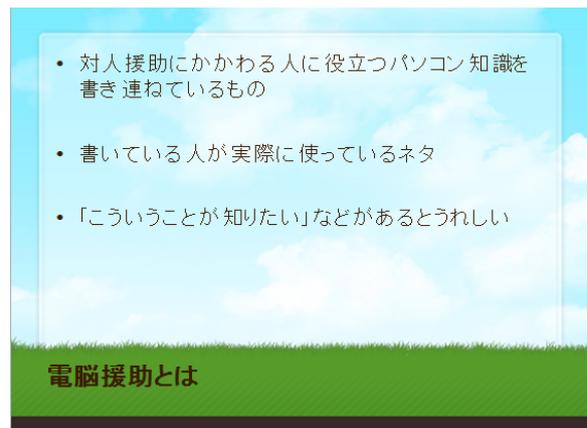
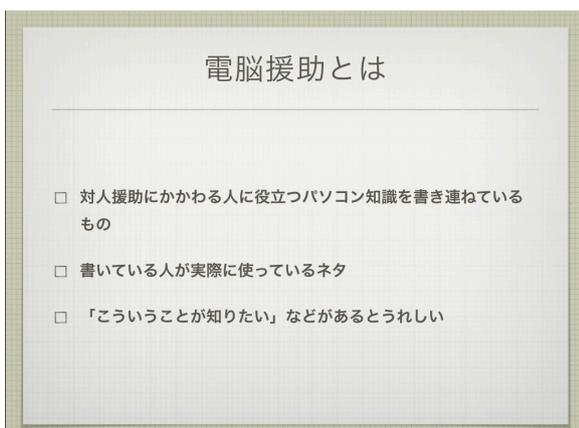
色について

やはり見やすいのは、白地に黒。淡色の上に濃色。なぜかテンプレートには逆も多い。会場にあるプロジェクターは最新型でなくてやたら暗かったりすることも多いです。暗いとなおさら見えにくいです。

【濃地・淡字】 これはオシャレな感じがするが、スクリーンに映すと見にくい。



【淡地・濃字】 これはみやすい。



ギラギラとたくさん色を使うのも考えものです。目的は、「伝えたいことを伝えるようにする」ですから、伝えたい部分を目立たせることが重要なのです。

これだとどっか具合でも悪いのか心配になりますね。

● 电脑援助とは！ ●

- 対人援助にががわる人に役立つパソコン知識を
書き連ねているもの
- 悪いという入が実際に使っている様子
- 「こういうことが知りたい」などがあるとうれしい



アニメーションは最低限、効果的に使う

最初はたくさん動かしたくなるので、覚えたてはむしろ過剰に使ってみるとよいですよ。「やったことない」より「できるけどやらない」ほうが余裕が持てます。あとで見直すと恥ずかしいのですが。

箇条書きをアニメーションで出すのは過剰とは思いませんが、「一気にだしたほうがいいのか」「一行ずつ出したほうがいいのか」、場合によって使い分けるといいです。『話しながらクリックするタイミング』を練習してみるといいです。

常時動いているアニメーションは、はっきりいって邪魔です。かわいいキャラクターも、最初に目立たせておけばあとは黙っているべきです。

アニメーションをいっぱい使っているのは「ボク、パワーポイント使い始めたら楽しくなってきたところなの！」という証です。自戒。

Simple is best. っていう言葉はやはり名言だなあと思います。

シンプルで見やすい、それでいて伝えたいことが伝わるプレゼンテーションを目指しましょう。もちろん、パワーポイントなんかよりも大事なものは、どう話すかです。これも場数、経験が大事ですね。「慣れればできる」のです。

練習するのは恥ずかしいし時間がかかりますが、やってみるとひっかかるポイントとかがわかってとてもオススメです。時間配分なんかもわかります。

「人前で話すのが苦手」という人（実際苦手なのかわかりませんが）はほんと多いです。せっかく「人と話す仕事」をしているのだから、複数相手にもやってみましょう。



Let'sプレゼン！

疑問・感想は dennouenzyo@gmail.com まで！